

横川省三 よこがわ しょうさん 志士。元治二年四月四日陸奥國盛岡生れ、明治二十七年四月二十一日歿（一八五五—一九〇四）。舊姓三田村、幼名勇治。別名三田村勇次、山田勇次、横川勇次（治）。號北溟散人。明治十七年上京、自由黨の有一館に入りて自由民権運動に従ひ、加波山事件に従ひ。一八八九年朝日新聞特派員として郡司成忠の千鳥探検に参加、同行記「短艇遠征隨行」を東京・大阪兩紙に連載、一萬の部數擴張を得たといふ。翌年の清戦争に従軍記者。二十年朝日を退社してアメリカに渡り、サンフランシスコで米田實、山田嘉吉等と合刊紙「シヤパン・ハラルド」のち「桑港日本新聞」と改題（を創刊。翌年歸國し、三十一年にはハワイに赴き邦人等議の調停役、移民事業に携はる。二十四年北京の東文會社に入り沖積介等を知る。白露用戰直前、沖、船光二等と擁し大非軍籍特別任務班班長として情報活動に當ると、ロシア軍に捕へられ、沖と共に處刑せられた。

山田俊江著 山田 俊江 『殉國志士横川省三氏略傳』（昭和十年七月二十一日殉國志士横川省三氏遺蹟保存會）、利岡中和著『真人横川省三傳』（第八版）

昭和十一年四月十五日「真人横川省三傳」  
 刊行會）、八木英之著『志士横川一我等の先輩』（昭和十四年五月二十一日岩手・花巻日の出新聞社）、伊東峻一郎著『志士の生涯—横川省三傳』（昭和十九年六月二十

（書 遺）

白輿亞書院）、池野藤

兵衛編著『明治の青春

横川省三—白雲戦争と



序  
 入小天皇陛下ノ命ニ依リ露國船中ニ在リテ  
 二種ノシ今汝等ノ身ヲ壯健ニシテ而國ヲ愛ス  
 命ナリ汝等ノ身ヲ壯健ニシテ而國ヲ愛ス  
 竹ノ成死ニシテ別ニ云フニ母ニ母ニカク論ニ  
 汝等ノ傳ニシテ毎毎ニ母ニ傳ニカク  
 明治廿三年 六月 十日  
 清州 哈谷  
 横川 省三  
 横川 省三 叙  
 横川 省三 叙  
 此書は明治二十一年四月四日陸奥國盛岡生れ、明治二十七年四月二十一日歿（一八五五—一九〇四）の横川省三氏の遺稿をまとめたものである。省三氏は自由民権運動に従ひ、加波山事件に従ひ、一八八九年朝日新聞特派員として郡司成忠の千鳥探検に参加、同行記「短艇遠征隨行」を東京・大阪兩紙に連載、一萬の部數擴張を得たといふ。翌年の清戦争に従軍記者。二十年朝日を退社してアメリカに渡り、サンフランシスコで米田實、山田嘉吉等と合刊紙「シヤパン・ハラルド」のち「桑港日本新聞」と改題（を創刊。翌年歸國し、三十一年にはハワイに赴き邦人等議の調停役、移民事業に携はる。二十四年北京の東文會社に入り沖積介等を知る。白露用戰直前、沖、船光二等と擁し大非軍籍特別任務班班長として情報活動に當ると、ロシア軍に捕へられ、沖と共に處刑せられた。

志士群像

(昭和五十五年十一月一日牧野出版) 等々